

第67回 三縁の会

平成29年3月23日

ゆたか経営技研

代表 末松 治男

— 「中小企業・小規模企業の躍進の5つの条件」 —

< なぜ、中小と小規模とを区別しているのか >

2015年度より中小企業白書が2分冊

「中小企業白書」と『小規模企業白書』とに分冊

中小企業の中でも、そのうちの小規模事業者の業績低迷・事業上の問題が顕著であり、これらを別個に検討する必要があるものとしたと思われます。

36年間、金融機関で体験・経験したことにもとづいて

私なりに5つの**躍進の条件**を考えてみました。

1, 5つの条件とは何か

事業の持続化・自社事業体の自立・繋がること・身の丈投資・社会貢献活動

○ **事業の持続化<主要命題>**

持続化（持続可能性）＝躍進

階段（段階）上昇志向

もはや、躍進のような急成長は極めて困難

常に持続化を考えるべきである。

○ 自社事業体の自立

本当に自立できているか

① 都市と地方（地方創生に関して）

ふるさとプロデューサーの研修を通じて感じたこと

② 金融機関との新たな“付き合い方”

もう金融機関には頼れない

金融庁金融レポート：・9年後には地銀の6割が赤字

・金融機関への持続化要請

○ 繋がること

IT 社会 販促ツールとしての価値

ex: 中国の「微信（ウィーチャット）」<Line>

「微博（ウェイボ）」<Twitter>;

「

FineTech とは

- ・考え方の基礎となる「ブロックチェーン」については学習する価値あり。
- ・仮想通貨・地域通貨の類似性

○身の丈（相応）投資

人材は宝

人材育成の仕組みづくりはできているか
社長と従業員との交流—ある企業の実践—

小さな投資と大きな投資

堅実な企業はコツコツと貯めている <大きな投資への備え>
— 積立預金通帳 56 冊の紐屋の社長 —#

○社会貢献活動

税金

当たり前ことが出来ない→商いは儲けなければならない
— あるパキスタン人社長の言葉 —

地域貢献活動

地元地域での自社の存在価値が見いだされるか
— 「甲子園けやき散歩道」 —

2, 将来の展望

- ① コガネなくして躍進（持続化）なし

- ② 自らの“想い”を原点として、中期計画の立案を

計画の結果発表の場は決算後の自社の業績報告会の開催で <社長の想いを伝える場>

③ 金融機関は金融機関でなくなる

・ 30年前の中堅職員研修レポートより

・ 仮想通貨を中心に

第2金融機関の出現

④ 近時の金融行政への雑感

金融機関への持続化要請

摘発行政から育成行政へ

3, 最後に